

3. 工 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
環境応用 化学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>環境応用化学科では、企業等で実践力を有する工学専門職としてグローバルに活躍できる技術者の育成を教育の目標に掲げ、学士課程を通じて以下の資質や能力を身に付けた人材の育成を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自然との共生、環境との調和および社会への貢献の視点を持ち、社会的責任感と科学的倫理観をもって物事を判断する能力 2) 産業界で技術者として活躍するために必要な工学および化学の基礎を習得し、実験や観察の結果を考察でき、問題解決に柔軟に応用する能力 3) 自主的、継続的な学習により知識や技術を高め、それらを課題の探求と解決に生かし、正しく明瞭にまとめ伝える能力 <p>そこで、環境応用化学科では、化学、化学工学および生物工学を基礎として、地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産及び循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材の育成を目的とした教育研究を行います。</p> <p>したがって、本学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 化学の知識・技術・考え方を真剣に学び、それを将来、応用化学あるいは環境・生物工学などの分野で活かしたいという情熱を持っている人（主体性） 2) 化学及び環境に関連する自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人（学問への関心） 3) 実験や観察が好きで科学現象について考え、それを表現できる人（思考力、表現力） 4) 数学、化学を含む理科及び語学の基礎学力を有し、それを身近な問題に応用できる人（知識・理解）
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校で修得した基礎的な学力と環境応用化学を学習する上で重要な理数系科目、および英語の学力について、大学入試センター試験と個別学力試験によって、知識・理解および思考力を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、面接と小論文によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および資質を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、および日本留学試験によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および日本語によるコミュニケーション能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 日本留学生試験では、知識・理解および思考力について評価します。
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校または高等専門学校等で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学、数学および物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な内容を修得しておくことを求めます。さらに、協調性およびコミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
	社会環境 システム 工 学 科
<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び、小論文及び出願書類によって多様な能力を総合的に判断します。 	

学科	学科のアドミッション・ポリシー
社会環境システム工学科	<p>面接では主体性、学問への関心について評価します。 小論文では表現力について評価します。 出願書類では知識・理解、主体性、学問への関心について審査します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す入試科目として課しているかどうかに関わらず、数学、物理、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>
	環境ロボティクス学科
<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>	
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に着けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>	
機械設計システム工学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>機械設計システム工学科では、機械と自然との調和を考える能力、社会秩序や環境保護に対する技術者の責務を考える能力、資源とエネルギーの有効利用を考える能力、機械工学に関連する問題解決能力と創造力、アイデアを実現できるデザイン能力およびそれを説明するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、機械設計システム工学科では「人と自然に優しいものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組み、数学及び理科の基礎的な知識・理解を有し、コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎科目と理数系科目など大学の学習で必要となる学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、小論文、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では、思考力、表現力を評価します。 面接では知識・理解、主体性、学問への関心について評価します。 書類審査では機械工学を学ぶ者として必要な資質・態度を審査します。それによって、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接、日本留学試験及び書類審査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>数学、物理・化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、自主的・継続的に学習する能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
電子物理 工 学 科	<p>1. 求める学生像</p> <p>電子物理工学科では、人間の文化、社会、自然、及び専攻する学問分野の知識・技能、社会の一員としての意識をもった人間性、社会性、国際性、課題を発見し、情報や知識を複眼的、倫理的に分析して、その課題を解決する力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、電子物理工学科では、太陽光発電やエネルギー計測といった最先端の産業分野に対して熱意を持って取り組み、専門技術者として必要な基礎および専門的な知識・技能を有し、課題を見出し解決に向けて対応できる思考力と自ら学習計画を立て、主体的に学ぶ力を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる課題の解決へ向けて積極的に行動できる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さない場合は、口頭試問を含む面接、志望理由書及び調査書・推薦書によって多様な能力を総合的に判断します。また、大学入試センター試験を課す場合は、面接、志望理由書及び調査書・推薦書及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 志望理由書では、自然科学や科学技術への関心度を審査します。それによって、表現力、学問への関心について評価します。 調査書・推薦書では、高校生活の諸活動を審査します。それによって、主体性について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを審査します。それによって、表現力、主体性を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す物理、数学、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、表現力、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>電気システム工学科では、技術者にとって必要となる数学を含めた自然科学の知識、電気エネルギーおよび情報通信分野に関する専門技術と実践能力、課題探求能力、課題解決能力およびデザイン能力を有し、多様なグローバル社会の要請に応え得る能力、技術者に求められるコミュニケーション能力、技術者に求められる倫理観、課題や問題に対して、自律的、継続的に取り組むことができる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、電気システム工学科では、電気電子工学分野に対して熱意を持って取り組み、国際的な視野を有し、常に自分が何をもって社会に貢献できるかを問い続ける柔軟な考え方や数学、理科、英語などの基礎的な学力、基礎的な表現力を持つ人、また、問題解決へ向けて、自分から積極的に目標と計画を立て、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目を中心に大学の学習で必要となる専門科目を理解出来る基礎学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、一般入試では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力や学習意欲が備わっている人を受け入れます。 大学入試センター試験を課す推薦入試では、理数系科目を中心に、電気システム工学科で学ぶ専門科目を理解出来る基礎学力が備わっていることに加えて、センター試験、面接、小論文、調査書及び志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 センター試験では、知識・理解について評価します。 面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 調査書では、知識・理解を調査します。 志望理由書では、表現力、学問への関心について評価します。 それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 大学入試センター試験を課さない推薦入試では、科学技術に対する強い興味と学習意欲を持っていることに加えて、面接、小論文、調査書及び志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 調査書では、知識・理解を調査します。 志望理由書では、表現力、学問への関心について評価します。 それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p>
電 気 シ ス テ ム 工 学 科	

学科	学科のアドミッション・ポリシー
電気システム工学科	<p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、技術者に必要な能力に加えて国際性や語学力、日本で研鑽する熱意、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくこと、電気システム工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることなど、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
情報システム工学科	<p>1. 求める学生像 情報システム工学科では、社会に対する責任感、問題解決能力、専門分野で通用する高度なコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、情報システム工学科では、情報科学技術を通じ、人類の幸福と社会の発展に貢献しようと熱意を持って取り組み、公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報工学の学習に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持ち、明確な目標を持って継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる情熱に溢れる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 a) センター試験を課さない推薦入試 工業系高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、思考力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>b) センター試験を課す推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>